

PRESS RELEASE資料

在宅医療介護連携システム
川電子@連絡帳
について



超高齢社会(対策)

当面の目標: 2025年問題の解決

“団塊の世代”が 75歳以上になる



健康寿命・社会寿命の延伸を加速するため、

- ①全世代型社会保障制度の整備
- ②働き方改革

+ with/postコロナ禍の時代

①全世代型社会保障制度

プログラム法

(持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律)

- 2025年までに
- ①良質で効率的な医療提供体制の確立
 - ②地域包括ケアシステムの構築

①-1 良質で効率的な医療提供体制の確立 (連携医療)

主に地域中核病院等が中心となって行うべき課題



①良質で効率的な医療提供体制の確立 地域医療構想 2019

愛知県地域医療構想〈概要版〉

1 策定の趣旨

- 急速に少子高齢化が進行する中、平成37年(2025年)にはいわゆる団塊の世代が75歳以上となり、**医療や介護を必要とする高齢者が大幅に増加**。
- 高齢化の進行に伴い、**医療ニーズの増加・慢性的な疾病や複数の疾病を抱える患者の増加による疾病構造の変化**が見込まれている。
- こうした状況に対応するため、平成26年6月に医療介護総合確保推進法が制定され、**都道府県は「地域医療構想」を策定し、平成37年(2025年)における地域の医療提供体制の姿を明らかにし、その地域にふさわしいバランスのとれた病床の機能の分化と連携を推進する。**

2 本県の人口見通し及び医療資源等の状況

(1)人口の見通し

- 本県の総人口は**、平成25年(2013年)を1とした場合、平成37年(2025年)には0.99、平成52年(2040年)には0.92に減少するが、**全国よりも緩やかな減少率**。
- 65歳以上人口は**、平成37年(2025年)には1.18、平成52年(2040年)には1.35に、また、**75歳以上人口は**、平成37年(2025年)には1.57、平成52年(2040年)には1.62に増加し、**全国を上回る増加率**。

区分	総人口		
	平成25年	平成37年	平成52年
全国	127,298,000 (1.00)	120,658,000 (0.95)	107,276,000 (0.84)
愛知県	7,434,996 (1.00)	7,348,135 (0.99)	6,855,632 (0.92)

区分	65歳以上人口			75歳以上人口		
	平成25年	平成37年	平成52年	平成25年	平成37年	平成52年
全国	31,898,000 (1.00)	36,573,000 (1.15)	38,678,000 (1.21)	15,603,000 (1.00)	21,786,000 (1.40)	22,230,000 (1.42)
愛知県	1,647,063 (1.00)	1,943,329 (1.18)	2,219,223 (1.35)	741,801 (1.00)	1,165,990 (1.57)	1,203,230 (1.62)

(2)医療資源の状況

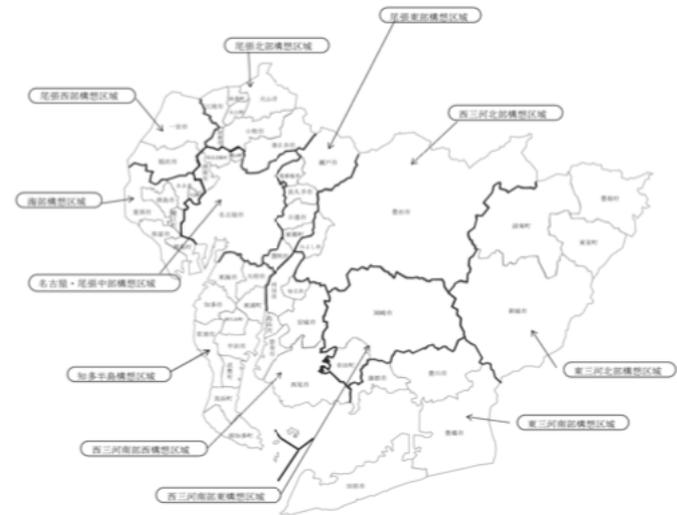
- 人口10万対の病院等の医療施設数、病床数及び医療施設従事者数は全国よりも低い水準。
- 病床100床対の医療施設従事医師数及び病院従事看護師数は全国を上回る。
- 救命救急センター数は全国で2番目の設置数。

区分	全国①	愛知県②	②/①
病院数	8,540	325	—
人口10万対	6.7	4.4	65.7%
診療所数	100,528	5,259	—
有床診療所	9,249	408	—
人口10万対	7.3	5.5	75.3%
歯科診療所数	68,701	3,707	—
人口10万対	54.0	49.9	92.4%
病院病床数	1,537,772	67,579	—
人口10万対	1,236.3	908.9	73.5%
一般病床数	897,380	40,437	—
人口10万対	704.9	543.9	77.2%
療養病床数	328,195	13,806	—
人口10万対	257.8	185.7	72.0%
精神病床数	339,780	13,010	—
人口10万対	266.9	175.0	65.6%
有床診療所病床数	121,342	4,801	—
人口10万対	95.3	64.6	67.8%

区分	全国①	愛知県②	②/①
医療施設従事医師数	288,850	14,712	—
人口10万対	226.5	197.9	87.4%
病床100床対	17.0	20.3	119.4%
医療施設従事歯科医師数	99,659	5,410	—
人口10万対	78.2	72.8	93.1%
薬局・医療施設従事薬剤師数	205,716	10,525	—
人口10万対	161.3	141.6	87.8%
病院従事看護師数	747,009	36,145	—
人口10万対	586.8	486.1	82.8%
病床100床対	47.5	49.9	105.1%
特定機能病院	84	4	—
救命救急センター数	271	22	—
面積(km ²)	377,972.28	5,169.83	—

3 構想区域の設定

- 尾張中部医療圏**は面積が著しく小さく患者の多くが名古屋医療圏へ流出していることから**名古屋医療圏と統合して1つの構想区域とする**。
- 他は現状の2次医療圏をそれぞれ**構想区域として設定**。



①-2 地域包括ケアシステムの構築 (在宅医療・介護連携)

主に医師会が中心となって行うべき課題

最終的には行政サービス



地域包括ケアとは・・・

全世代型社会保障 高齢者対策の切り札

地域包括ケア

社会保障制度改革国民会議

地域の

みんなで

高齢者をケアする

高齢者が人生の最期まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるためのケア

地域包括ケアシステム

x

地域(医療・介護)ビジョン



高齢者の尊厳を支えるケアの確立

(例)
認知症患者は、記憶障害が進行する一方で、感情および感情の察知やプライドが残っているため、外界に対して強い不安を抱くとともに、周りの対応によっては焦燥感、喪失感、怒り等を覚えている。

この認知症患者に対しても、本人の生活スタイルや潜在する能力を周囲が大切にし、その人の人格を尊重してその人らしさを支えていく。

これが、「高齢者の尊厳を支えるケア」である。

高齢者の尊厳を支えるケアの指標
徹底した自立支援

① 介護予防 ② 重度化予防 ③ 生活支援



愛知県では、
県医師会を中心に、**在宅医療・介護連携推進事業**を念頭に、
地域医療介護総合確保基金を活用して平成27年度から3年間、

①**在宅医療サポートセンター事業**

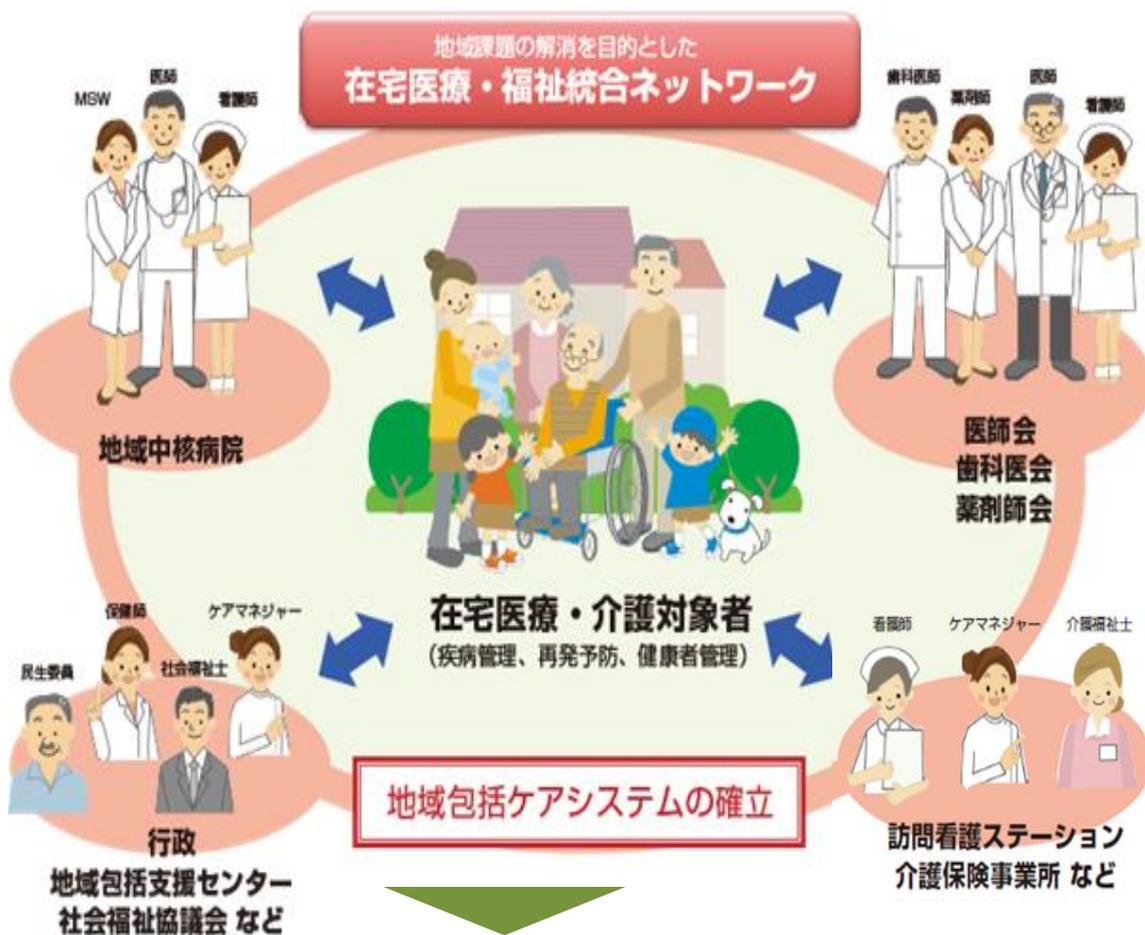
②**中核センター事業**

を実施

この活動は現在、愛知県医師会ネットワーク会議に継承されている

名古屋大学が生み出し
IIIが育てた

ICT ネットワーク基盤システム = III電子@連絡帳



医療・介護サービスの提供体制改革の必要性

- ① 医療との連携強化
- ② 介護サービスの充実強化
- ③ 予防の推進
- ④ 見守り、配食、買い物など多様な生活支援サービスの確保や権利擁護など
- ⑤ 高齢期になっても住み続けることのできるバリアフリーの高齢者住まいの整備

多職種連携を支援するICTツール

電子@連絡帳の広がり

愛知県内 49/54自治体
茨城県、長野県、三重県、東京都(中野区)

愛知県

疾患別ネットワーク

- ・肺高血圧症: NUCAN電子@連絡 (名大病院 循環器内科)
- ・地域ネットワーク支援窓口 (名大病院 先端医療開発部 CAMCR)

【尾張北部医療圏】

- 岩倉のんぼりネット (岩倉市健康福祉部長寿介護課) 地域人口: 4.6万
- こまきつながるくん連絡帳 (小牧市健康福祉部地域包括ケア推進課地域支援係) 地域人口: 15万
- 春日井さくらネットワーク (春日井市民病院) 地域人口: 30.7万

【尾張東部医療圏】

- 瀬戸旭もーやっこネットワーク (瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会) 瀬戸市/尾張旭市 地域人口: 21.2万
- 愛・ながくて夢ネット (長久手市医療・介護・福祉ネットワーク連絡協議会) 地域人口: 5.4万
- 健やかにっしん・ヘルピーネット (日進市役所 健康福祉部 地域福祉課) 地域人口: 8.8万
- レガッタネットとうごう (東郷町福祉部長寿介護課) 地域人口: 4.2万
- いきいき笑顔ネットワーク (いきいき笑顔ネットワーク連絡協議会) 地域人口: 6.9万

【尾張中部医療圏】

- 地域人口: レインボーネット (北名古屋、清須市、豊山町) 16.2万

【尾張西部医療圏】

- 地域人口: なおいネットいなざわ連絡帳 (稲沢市) 13.7万

【海部医療圏】

- つながるまい海部・津島 (津島市、愛西市、あま市、弥富市 (大治町、蟹江町、飛鳥村))

地域人口: 33万

【東三河北部医療圏・南部医療圏】

- 東三河はいっぶネットワーク (東三河電子連絡帳協議会)
- 東三河広域連携 + 介護認定電子審査システム
- 豊橋市 田原市 豊川市 蒲郡市 新城市 設楽町 東栄町 豊根村
- 地域人口: 75.8万

【西三河北部医療圏】

- 豊田みよしケアネット (豊田市/みよし市 (豊田市みよし市在宅医療・介護・福祉総合ネットワーク協議会)) 地域人口: 48.5万

- 岡崎幸田いえやすネットワーク (岡崎市幸田町保健・医療・福祉ネットワーク協議会) 地域人口: 48.1万

【西三河南部東医療圏】

【西三河南部西医療圏】

- サルビー見守りネット (安城市福祉部高齢福祉課) 地域人口: 18.7万
- いげたネット (西尾市) 地域人口: 16.9万
- はなしょうぶネットワーク (碧南市健康推進部高齢介護課) 地域人口: 7万
- えんjoyネット (刈谷市、知立市、高浜市) 地域人口: 26.6万

【知多半島医療圏】

- 地域人口: おぶちゃん連絡帳 (大府市医療・介護ネットワーク協議会) 8.9万
- 地域人口: 東海へいしゅうくんネットワーク (東海市市民福祉部高齢者支援課) 11.2万
- 地域人口: ちた梅子ネットワーク (知多市在宅ケアセンター) 8.5万
- 地域人口: 医療・介護おだいちゃんネットワーク (東浦町役場健康福祉部福祉課) 5万
- 地域人口: あぐネット (阿久比町役場健康介護課介護保険係) 2.6万
- 地域人口: トコタンとことこ常滑ネット (常滑市高齢介護課) 5.7万
- 地域人口: だし丸くんネット (半田市福祉部高齢介護課) 11.6万
- 地域人口: ゆめたろうネット (武豊町役場福祉課) 4.3万
- 地域人口: 浜カッパいきいき電子@連絡帳 (美浜町役場厚生部福祉課) 2.4万
- 地域人口: ミーナネット (南知多町役場厚生部保健介護課) 1.9万

■ 実運用中

【愛知県】在宅医療介護連携システム「電子@連絡帳」に関する広域連携協定書 (2021/02/01)



在宅医療介護連携システム「電子@連絡帳」に関する広域連携協定書

津島市と、愛西市と、弥富市と、あま市と、大治町と、蟹江町と、飛島村と、稲沢市と、春日井市と、小牧市と、岩倉市と、東海市と、常滑市と、大府市と、知多市と、阿久比町と、東浦町と、南知多町と、美浜町と、武豊町と、碧南市と、刈谷市と、安城市と、知立市と、高浜市と、尾張中部地域在宅医療・介護連携推進協議会と、瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会と、豊田市みよし市在宅医療・介護・福祉総合ネットワーク協議会と、岡崎市幸田町保健・医療・福祉ネットワーク協議会と、東三河電子連絡帳協議会（以下、「協定参加機関」という。）

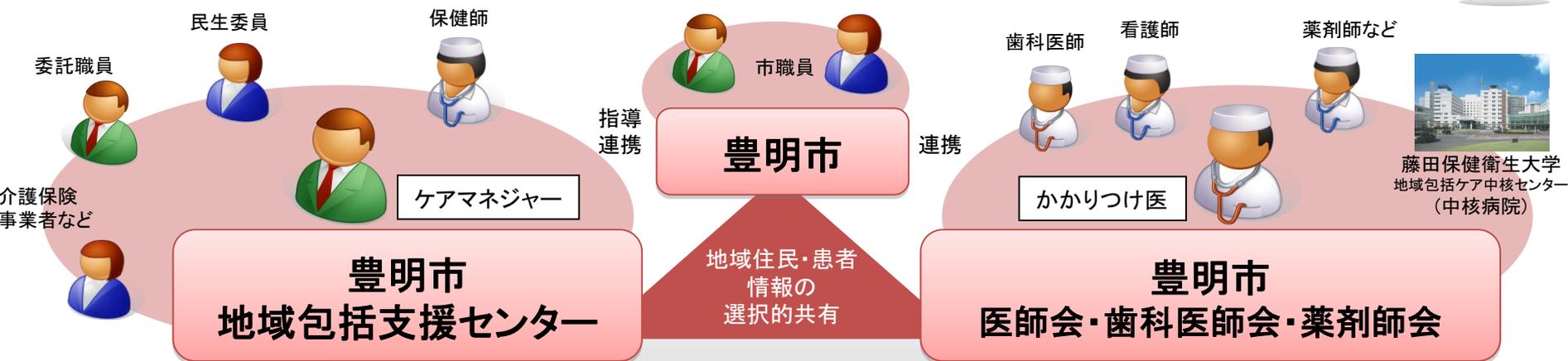
阿久比町 阿久比町長 竹内啓二		東浦町 東浦町長 神谷明彦		南知多町 南知多町長 石黒和彦	
美浜町 美浜町長 齋藤宏一		武豊町 武豊町長 初山芳輝		碧南市 碧南市長 福宜田政信	

電子@連絡帳

広域連携協定 46自治体に拡大(2021年2月1日)

津島市長 日比一昭		愛西市長 日水真平		弥富市長 安藤正明		尾張中部地域在宅医療・介護連携推進協議会 会長 加藤信	
あま市長 村上浩司		大治町 大治町長 村上昌生		蟹江町 蟹江町長 横江淳一		尾張東部医療圏 (瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町) 代表 瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会 会長 黒江幸二郎	
飛島村 飛島村長 加藤光彦		稲沢市 稲沢市長 加藤錠司郎		春日井市 春日井市長 伊藤大		西三河北部医療圏 (豊田市、みよし市) 代表 豊田市みよし市在宅医療・介護・福祉総合ネットワーク協議会 会長 神谷	
小牧市長 山下史守朗		岩倉市 岩倉市長 久保田桂朗		東海市 東海市長 鈴木淳雄		西三河南部東医療圏 (岡崎市、幸田町) 代表 岡崎市幸田町保健・医療・福祉ネットワーク協議会 会長 小原淳	
常滑市長 伊藤辰夫		大府市 大府市長 岡村秀人		知多市 知多市長 宮島壽男		東三河北部医療圏・南部医療圏 (豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村) 代表 東三河電子連絡帳協議会 会長 山本和彦	

(活用事例1) 愛知県豊明市 いきいき笑顔ネットワーク



システム・技術支援: 名古屋大学医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センター



在宅医療・福祉統合ネットワーク

いきいき笑顔ネットワーク

Powered by 電子伝達器



PRESS RELEASE資料

名古屋大学医学部附属病院とIIJとの共同事業

在宅医療介護連携システムを利用した 新型コロナウイルス感染症対策支援プロジェクト

新型コロナウイルス感染症

正しい知識を持って恐れよう



コロナウイルス感染症①

コロナウイルス: 人に蔓延している風邪ウイルスのひとつ

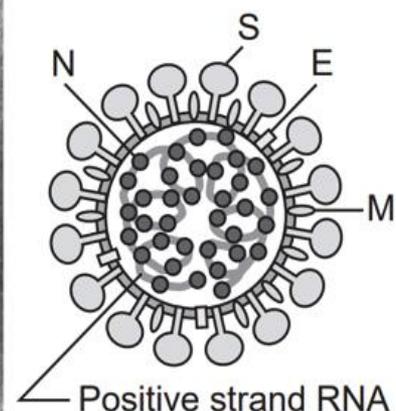
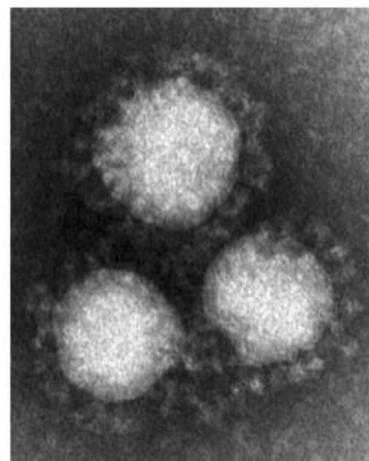
人に感染するコロナウイルスは7種類

うち4種類は冬季に流行のピークがみられほとんどの子供が6歳までに感染を経験する
うち3種類が重症肺炎を引き起こす

SARS-CoV(重症急性呼吸器症候群) 2002年中国広東省で発生
775人死亡(2003年12月時点)(致死率9.6%)

MERS-CoV(中東呼吸器症候群) 2012年サウジアラビアで発生
858人死亡(2019年11月時点)(致死率34.4%)

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)

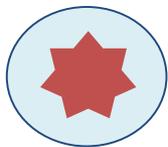


国立感染症研究所HPより

新型コロナウイルス感染症②



・飛沫感染 接触感染 空気感染



直径5 μ m以上の飛沫
(半径2m程度の感染範囲)

3密回避でOK



直径5 μ m未満のマイクロ飛沫
(換気の悪い室内に短時間浮遊)

換気でOK



裸のウイルス
(飛沫核)

・基本再生産数(R_0) (ひとりから何人が感染するかの指標)

ある感染症に対して全く免疫を持たない集団の中で、
1人の感染者が平均して何名の二次感染者を発生させるかを推定

2.28 (ダイヤモンド・プリンセス号の場合) / 麻疹12~18

・実効再生産数(R_t)

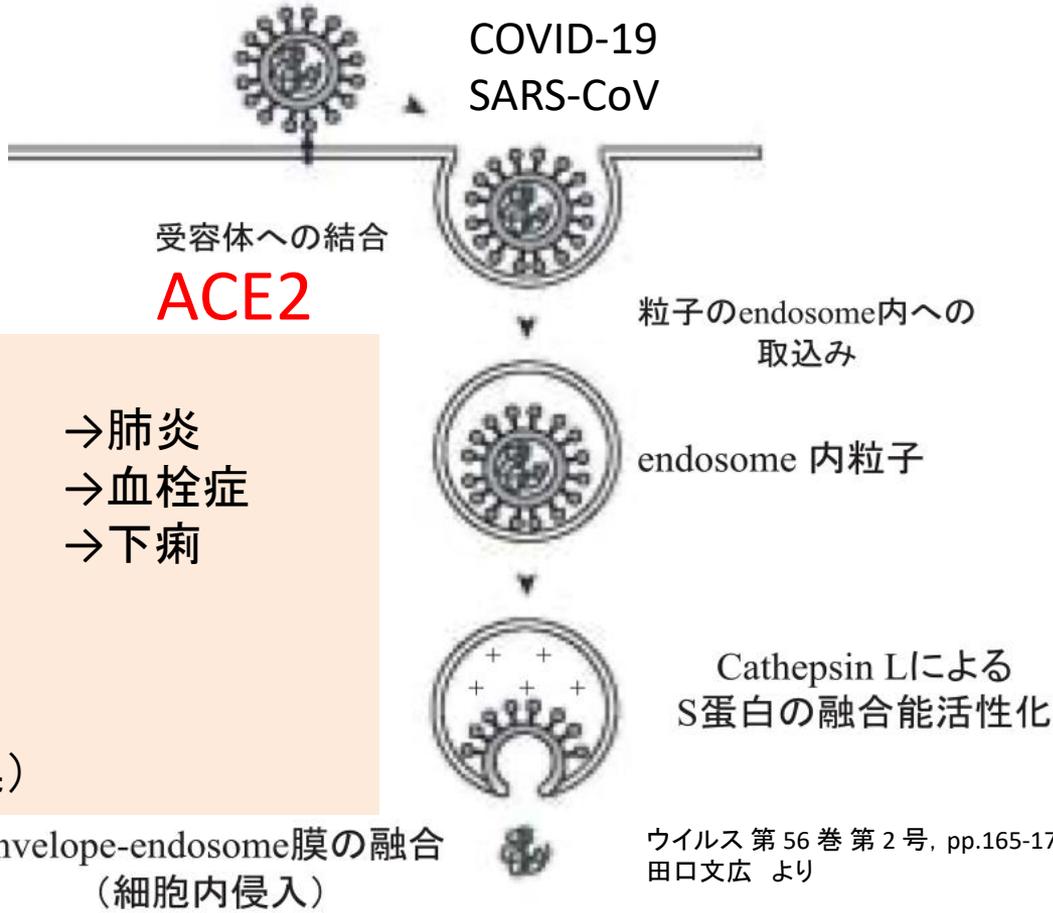
すでに感染が拡大している環境下のある時間 t において、
1人の感染者が平均して何名の二次感染者を発生させるかを推定

新型コロナウイルス感染症④



・感染様式

ACE=Angiotensin Converting Enzyme



ACE2の分布

呼吸器(気管、肺)	→肺炎
心臓・血管系	→血栓症
消化器(腸管)	→下痢
脳	
眼	
腎臓	
生殖系(精巣、卵巣)	

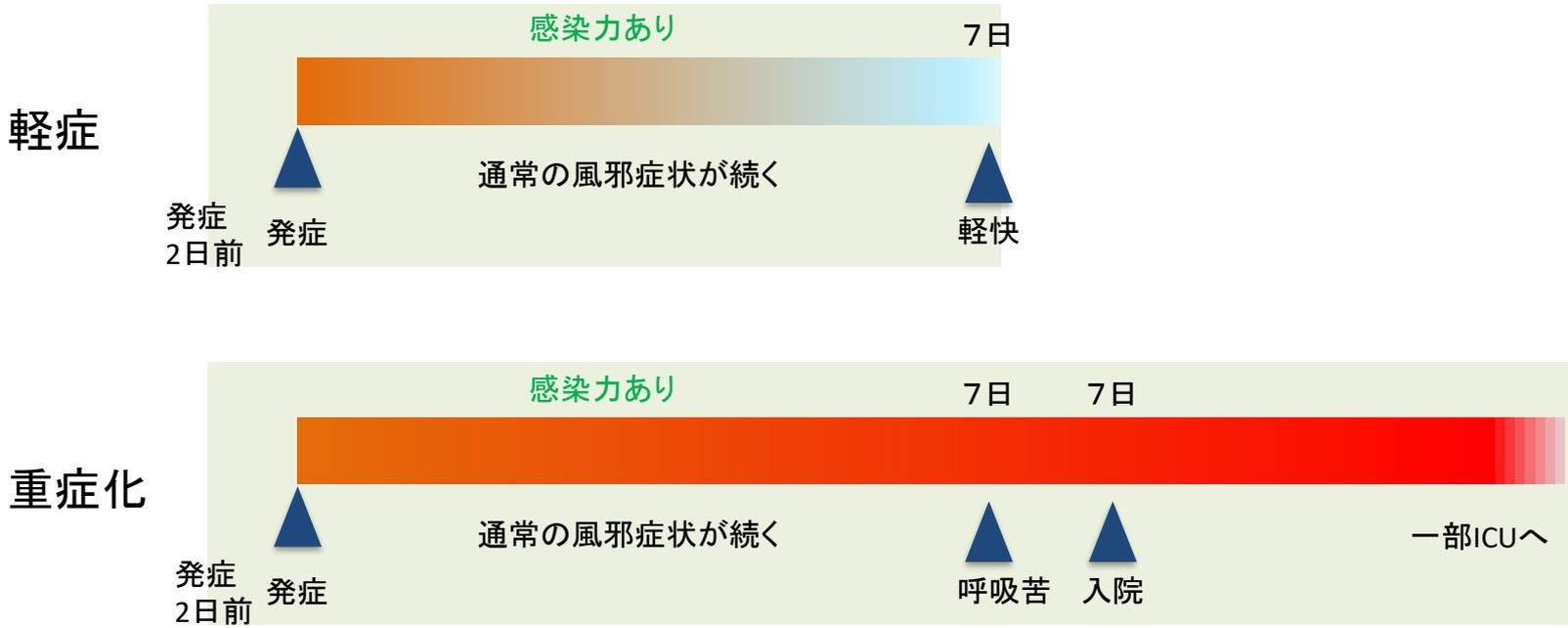
ウイルス 第56巻 第2号, pp.165-172, 2006
田口文広 より

・血管が脆弱の方(高齢者、糖尿病、心不全、腎不全(透析)、がんなどの患者)はリスク高い

新型コロナウイルス感染症⑤



- ・初発症状
臭覚・味覚脱失 26.6% (症状の出現率 73%米国)
- ・臨床経過と**感染力(発症2日前から発症後7-10日間程度)**



新型コロナウイルス感染症⑥ 抗体・ワクチン

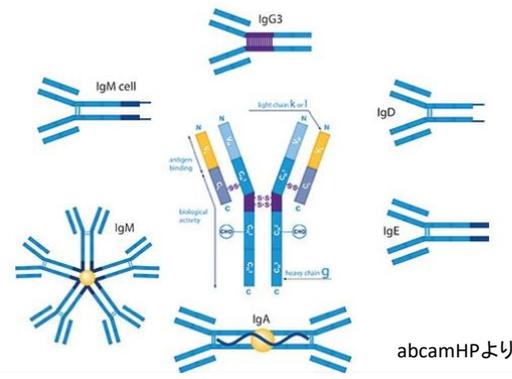


B細胞

B細胞 (数ヶ月)
(抗体産生細胞)
1細胞が1抗体

形質細胞 (数ヶ月)
(抗体量産細胞)

抗体産生



abcamHPより

抗体の種類(免疫グロブリン) 5種類

IgG: 血液中に多く存在。細菌や毒素と結合する能力が高く、血中に止まる時間も長い。

IgM

IgA

IgD

IgE

ワクチン

感染症の予防に用いる医薬品。
 病原体から作られた無毒化あるいは弱毒化された抗原を投与することで、
 体内の病原体に対する抗体産生を促し、感染症に対する免疫を獲得する。

抗体
中和
Wikipediaより

抗体の働き(中和作用)

ウイルスは細胞に感染できなくなります

細胞

細胞が出す毒素を中和します

抗体の働き(オプソニ化)

好中球

細菌

抗体

マクロファージ

抗体の働き(細胞溶解)

抗体は標的と協力して膜侵害複合体を作って細胞などを攻撃します

膜侵害複合体

細胞

抗体

補体

抗体の働き(炎症の誘発)

抗原

肥満細胞

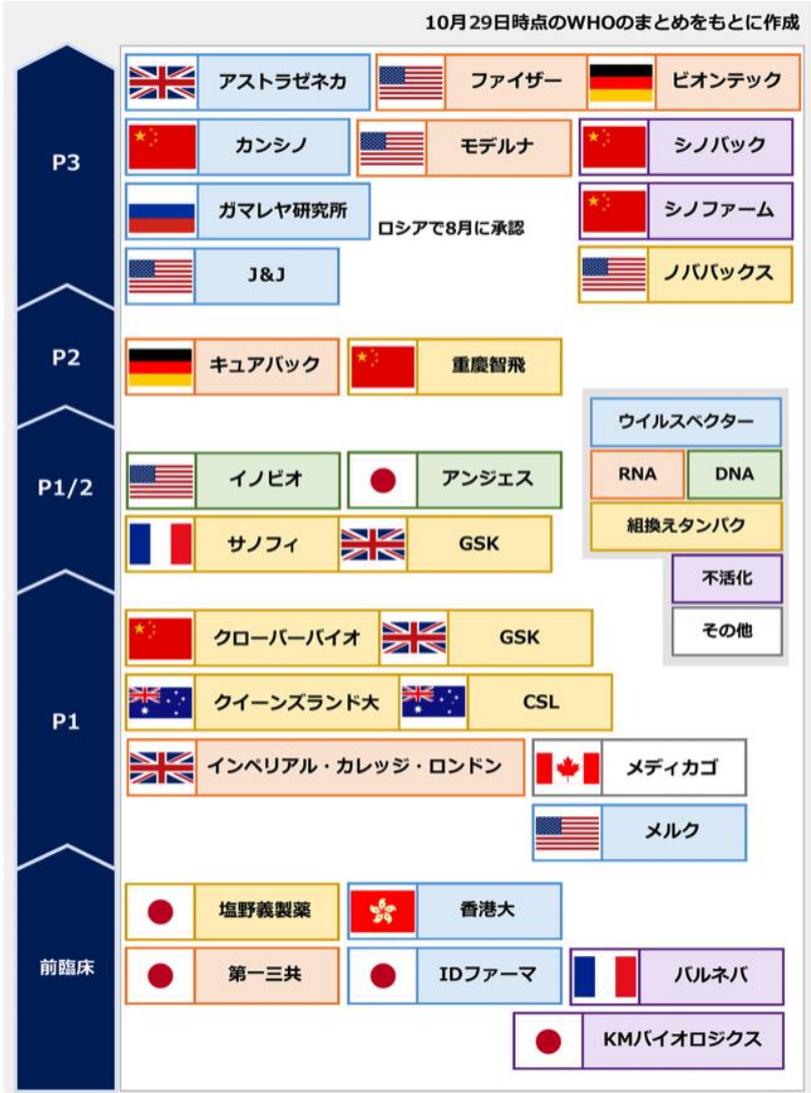
炎症

中外製薬HPより

新型コロナウイルス感染症⑦ ワクチン開発



主な新型コロナウイルス ワクチンの開発状況

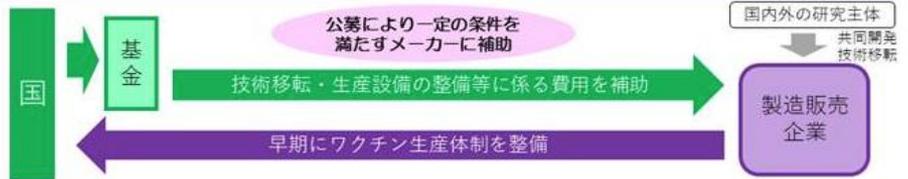


AnswerNewsHPより

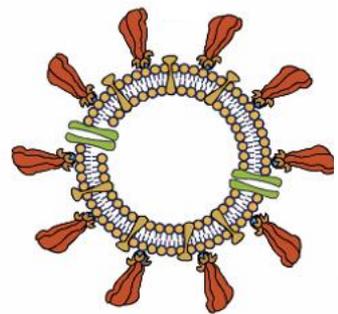
我が国でのワクチン開発

ワクチン生産体制等緊急整備事業について

- ワクチン生産体制等緊急整備事業は、国内において、新型コロナウイルスワクチンを始めとしたバイオ医薬品の実生産（大規模生産）体制の早期構築を図るための事業であり、新型コロナウイルスワクチンの国内における早期供給を促すものである。
- 公募を行い、6事業者の事業を採択した。（令和2年8月7日）



事業者名	ワクチンタイプ
アストラゼネカ株式会社	ウイルスベクター (海外で開発：オックスフォード大学のシーズ、アデノウイルス)
アンジェス株式会社	DNA
KMバイオロジクス株式会社	細胞培養不活化全粒子
塩野義製薬株式会社	組換えタンパク
武田薬品工業株式会社	組換えタンパク (海外で開発：米Novavaxのシーズ)
第一三共株式会社	mRNA



名古屋大学が開発している SARS-CoV-2 の表面を模倣したウイルス様粒子



手洗いが基本

家庭内ゾーニング(住宅の間取り(区分))

レッドゾーン: ウイルスがいることを前提として最大限の警戒

・**玄関**

かばん、バック、コートなどは表面のほこりを落とし、できればアルコール消毒
使い捨てマスクは玄関先の蓋付きゴミ箱へ
ここで脱衣

イエローゾーン: ウイルスがいると仮定して警戒

・**廊下**

てすり、ドアノブはこまめにアルコール消毒

・**トイレ**

便座を閉めて水を流す)

・**洗面所**

タオル、コップ、できれば歯磨き粉は使い分け、リスクのある衣服(80°C10分)

・**浴室**

使用后換気、できれば外出後シャワー

グリーンゾーン: ウイルスを持ち込まない清潔区域

・**ソファ**

・**キッチン**

・**リビング、**

・**寝室**



マスク 換気 Social distance(社会的距離) 十分な睡眠 禁煙

3つの密を避けましょう!

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

①換気の悪い密閉空間



②多数が集まる密集場所



③間近で会話や発声をする密接場面



3つの条件がそろった場所がクラスター(集団)発生のリスクが高い!



※3つの条件のほか、共同で使う物品には消毒などを行ってください。

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



厚労省 コロナ 検索





感染対策組織

- ・対策本部の立ち上げ(本部長・施設長)
- ・外部組織(保健所等)との連携窓口の一本化
- ・すべての職員間で情報を共有
- ・感染対策担当者の専任化

感染状況の把握

- ・感染発生状況の把握
- ・濃厚接触者の把握と健康管理
- ・濃厚接触者となった職員の休業(自宅待機)
- ・PCR
- ・職員の健康管理(検温、症状があれば休業)

感染拡大防止策

- ・感染者に接触する職員の限定
- ・ゾーニング
- ・動線のチェック(一方向性の担保)
- ・コホーティング(感染者、濃厚接触者、その他の病室または居住場所を分ける)
- ・専用物品の配置(体温計、血圧計、聴診器、パルスオキシメーターなど)
- ・環境対策(手すり、ドアノブ、スイッチ、リモコン、電話、ナースコールなど)
- ・職場環境(休憩場所・時間の分散)



職員の管理

- ・健康状態の把握・管理
- ・感染職員の復帰時期(症状消失48時間後(環境感染学会)・72時間(産衛学会))
- ・職場環境(換気、消毒、人の動線管理、飛沫防止(マスク、パーテーション、カーテンなど))
- ・面会記録

管理手引き

- ・日本環境感染学会: 新型コロナウイルス感染症の院内・施設内感染対策チェックリスト
- ・日本渡航医学会: 職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド

<http://www.kankyokansen.org>

<https://plaza.umin.ac.jp/jstah/index2.html>

新型コロナウイルス感染症の院内・施設内感染対策チェックリスト



Table with columns: 新型コロナウイルス感染症の院内・施設内感染対策チェックリスト, 2020.7, 流行時対策, 感染対策組織, 職員管理, 患者(利用者)管理, 感染予防対策, 感染疑い者の発生時, 感染発生時, 感染拡大防止対策. Rows list various measures like staff training, PPE use, and visitor management.



リスクコミュニケーション Risk Communication

事業者が周辺地域行政や住民との間で情報を共有し、リスクに関する理解を得るために行うコミュニケーション

- ・感染防止対策
- ・感染防止用物品(マスク、消毒液など)の状況
- ・近隣にあるPCR検査体制情報
- ・イベント・学校・病院情報

クライシスコミュニケーション Crisis Communication

緊急事態が発生した際、企業や組織がとる対外的なコミュニケーション

- ・事業所におけるコロナ発生情報
- ・近隣事業所とおしの支援体制のあり方
- ・行政との情報共有と対策



電子@連絡帳(ICT)ネットワーク上で情報共有

2021年4月 瀬戸市、尾張旭市で瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会(事務局:瀬戸旭医師会)が運用する「瀬戸旭もーやっこネットワーク」との連携を開始、今後他の市町村にも広げていく予定



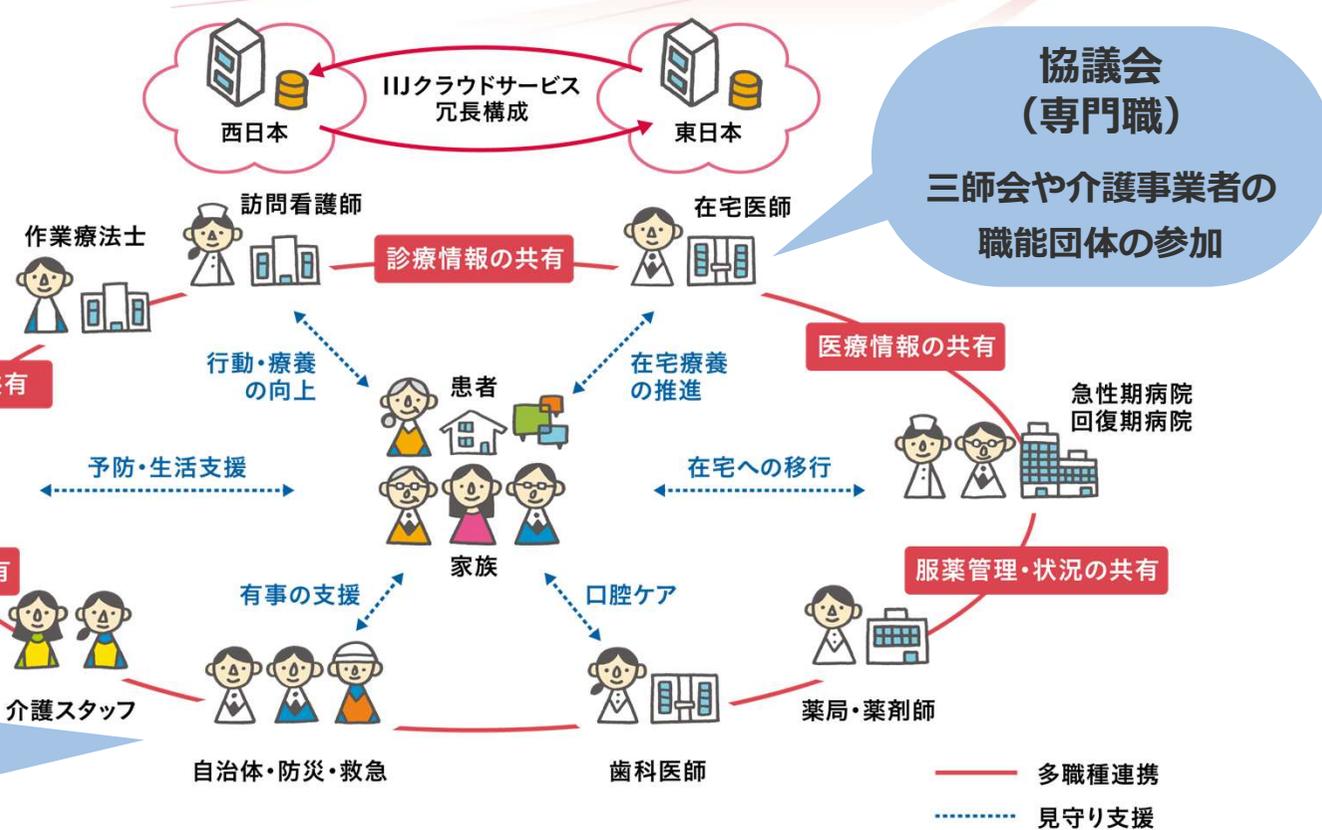
IIJ電子@連絡帳サービスの 新機能の開発と提供のご紹介



2021/04/28

株式会社インターネットイニシアティブ
公共システム事業部ヘルスケア事業推進部

IIJ電子@連絡帳サービスの概要



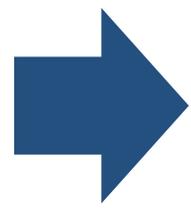
行政 (運営)
各市町村の登録事業所、
利用者への周知・連絡

地域のくらしの情報連携
(医療・介護情報 + 患者・家族の生活情報)

医療・介護の専門職ネットワークの形成

在宅医療だけでなく介護予防施策も支援

災害時の要援護者支援 & 救急連携



**行政と専門職が中心となった
地域医療介護福祉の連携**

地域の専門職を1チームに

愛知県の導入状況

愛知県

疾患別ネットワーク

NUCAN 電子@連絡帳
名古屋大学大学院医学系研究科
循環器内科 / 肺高血圧先端治療学寄附講座

地域ネットワーク支援窓口

名古屋大学医学部附属病院
先端医療開発部 (CAMCR)

【尾張北部医療圏】

- 岩倉のんびりネット 地域人口: 4.6万
- こまきつなぐるくん連絡帳 地域人口: 15.0万
- かすがいねと連絡帳 地域人口: 30.7万
- このはネット 地域人口: 30.7万

【尾張東部医療圏】

- 瀬戸旭もーやっこネットワーク 地域人口: 21.2万
- 愛・ながくて夢ネット 地域人口: 5.4万
- 健やかにっしん・ヘルピーネット 地域人口: 8.8万
- レガッタネットとうごう 地域人口: 4.2万
- いきいき笑顔ネットワーク 地域人口: 6.9万

【尾張中部医療圏】

- レイナーネット 地域人口: 16.2

【尾張西部医療圏】

- なおいネットいなざわ連絡帳 地域人口: 13.7

【海部医療圏】

- つながるまい海部・津島 地域人口: 28.5
- きんちゃん電子@連絡帳 地域人口: 4.3万

【知多半島医療圏】

- おぶちゃん連絡帳 地域人口: 8.9万
- 東海へいしゅうくんネットワーク 地域人口: 11.2万
- ちた梅子ネットワーク 地域人口: 8.5万
- 医療・介護おだいちゃんネットワーク 地域人口: 5.0万
- あぐネット 地域人口: 2.6万
- トコタンとことこ常滑ネット 地域人口: 5.7万
- だし丸くんネット 地域人口: 11.8
- ゆめたろろネット 地域人口: 4.3万
- 浜カッパいきいき電子@連絡帳 地域人口: 2.4万
- ミーナネット 地域人口: 1.9万

【東三河北部医療圏・南部医療圏】

東三河ほいっぴネットワーク 地域人口: 75.8万

東三河電子連絡帳協議会

東三河広域連合 + 介護認定電子審査システム

豊橋市 田原市 豊川市 蒲都市 新城市 設楽町 東栄町 豊根村

【西三河北部医療圏】

- 豊田みよしケアネット 地域人口: 48.5万

【西三河南部西医療圏】

- サルビー見守りネット 地域人口: 18.7万
- いげたネット 地域人口: 17.1万
- はなしょうぶネットワーク 地域人口: 7.0万
- えんjoyネット 地域人口: 26.6万

【西三河南部東医療圏】

- 岡崎幸田いえやすネットワーク 地域人口: 48.1万

在宅医療介護連携システム「電子@連絡帳」に関する広域連携協定書

在宅医療介護連携システム「電子@連絡帳」に関する広域連携協定書

津島市と、愛西市と、弥富市と、あま市と、大治町と、蟹江町と、飛鳥村と、稲沢市と、春日井市と、小牧市と、岩倉市と、東海市と、常滑市と、大府市と、知多市と、阿久比町と、東浦町と、南知多町と、美浜町と、武豊町と、碧南市と、刈谷市と、安城市と、知立市と、高浜市と、尾張中部地域在宅医療・介護連携推進協議会と、瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会と、豊田市みよし市在宅医療・介護・福祉総合ネットワーク協議会と、岡崎市幸田町保健・医療・福祉ネットワーク協議会と、東三河電子連絡帳協議会（以下、「協定参加機関」という。）は、次のとおり在宅医療介護連携システム電子@連絡帳に関する協定を締結する。

（電子@連絡帳の広域的利用）

第1条 協定参加機関のいずれかにより利用承認を受けた者は、現在自らが利用する電子@連絡帳以外に、協定参加機関が管理する電子@連絡帳を利用する「利用者」と電子@連絡帳に登録がある「患者」の情報を共有化することができる。ただし、利用する地域の電子@連絡帳の利用規約を遵守しなければならない。

この協定の締結を証するため、本書を協定参加機関の数、30通作成し、当事者押印の上、各自1通を保管する。

令和3年2月1日

津島市

津島市長 日比一昭



愛西市

愛西市長 日永貴章



弥富市

弥富市長 安藤正明



尾張中部地域
(清須市、北名古屋、豊山町) 代表
尾張中部地域在宅医療・介護連携推進協議会 会長 加藤裕



あま市

あま市長 村上浩司



大治町

大治町長 村上昌生



蟹江町

蟹江町長 横江淳一



尾張東部医療圏
(瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町) 代表
瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会 会長 黒江幸四郎



飛鳥村

飛鳥村長 加藤光彦



稲沢市

稲沢市長 加藤錠司郎

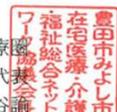


春日井市

春日井市長 伊藤太



西三河北部医療圏
(豊田市、みよし市) 代表
豊田市みよし市在宅医療・介護・福祉総合ネットワーク協議会 会長 神谷謙



小牧市

小牧市長 山下史守朗



岩倉市

岩倉市長 久保田桂朗



東海市

東海市長 鈴木淳雄



西三河南部東医療圏
(岡崎市、幸田町) 代表
岡崎市幸田町保健・医療・福祉ネットワーク協議会 会長 小原淳



常滑市

常滑市長 伊藤辰夫



大府市

大府市長 岡村秀人



知多市

知多市長 宮島壽男



東三河北部医療圏・南部医療圏
(豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村) 代表
東三河電子連絡帳協議会 会長 山本和彦



阿久比町

阿久比町長 竹内啓二



東浦町

東浦町長 神谷明彦



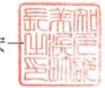
南知多町

南知多町長 石黒和彦



美浜町

美浜町長 齋藤宏



武豊町

武豊町長 初山芳輝



碧南市

碧南市長 禰亘田政信



刈谷市

刈谷市長 稲垣武



安城市

安城市長 神谷学



知立市

知立市長 林郁夫

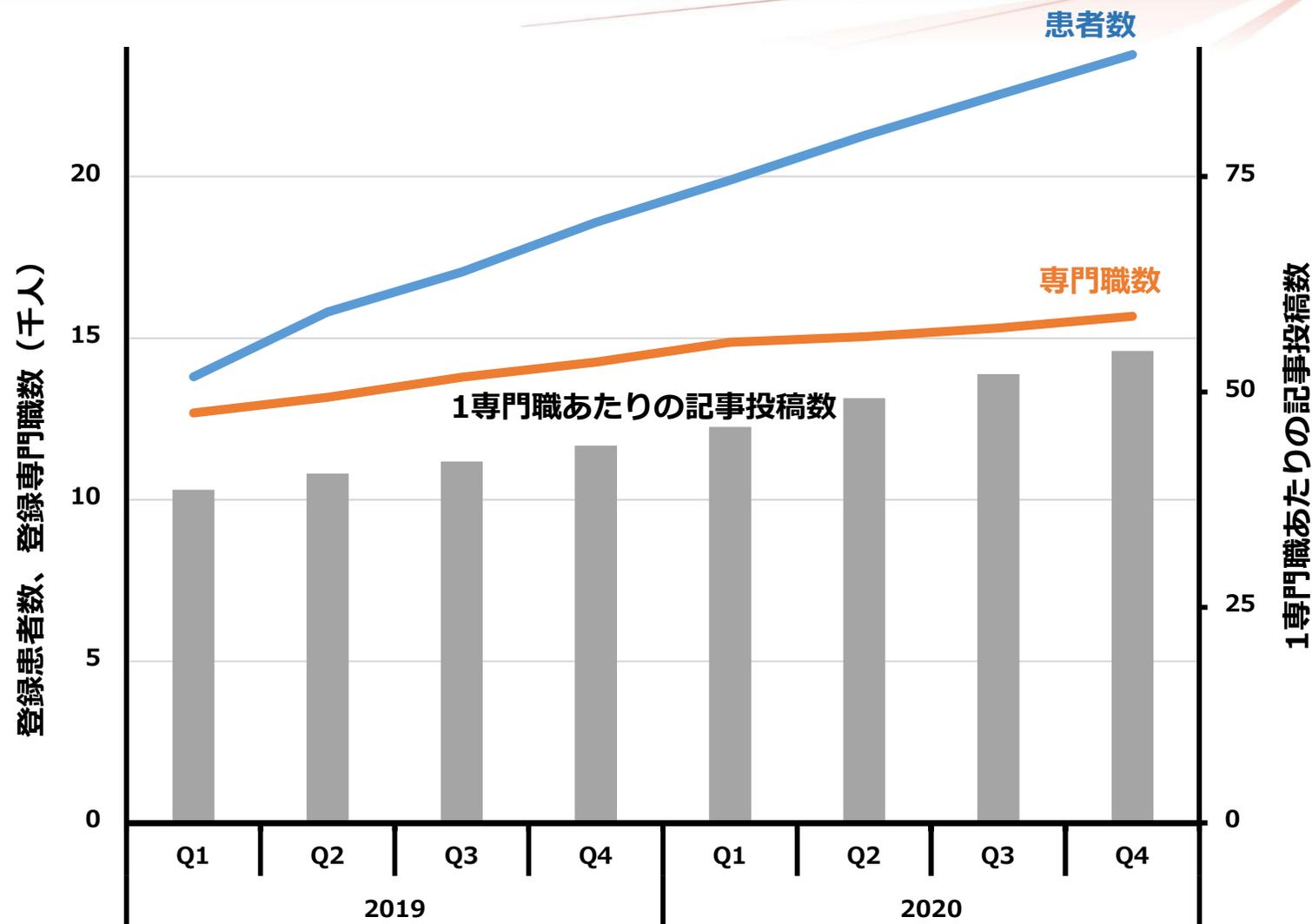


高浜市

高浜市長 吉岡初浩



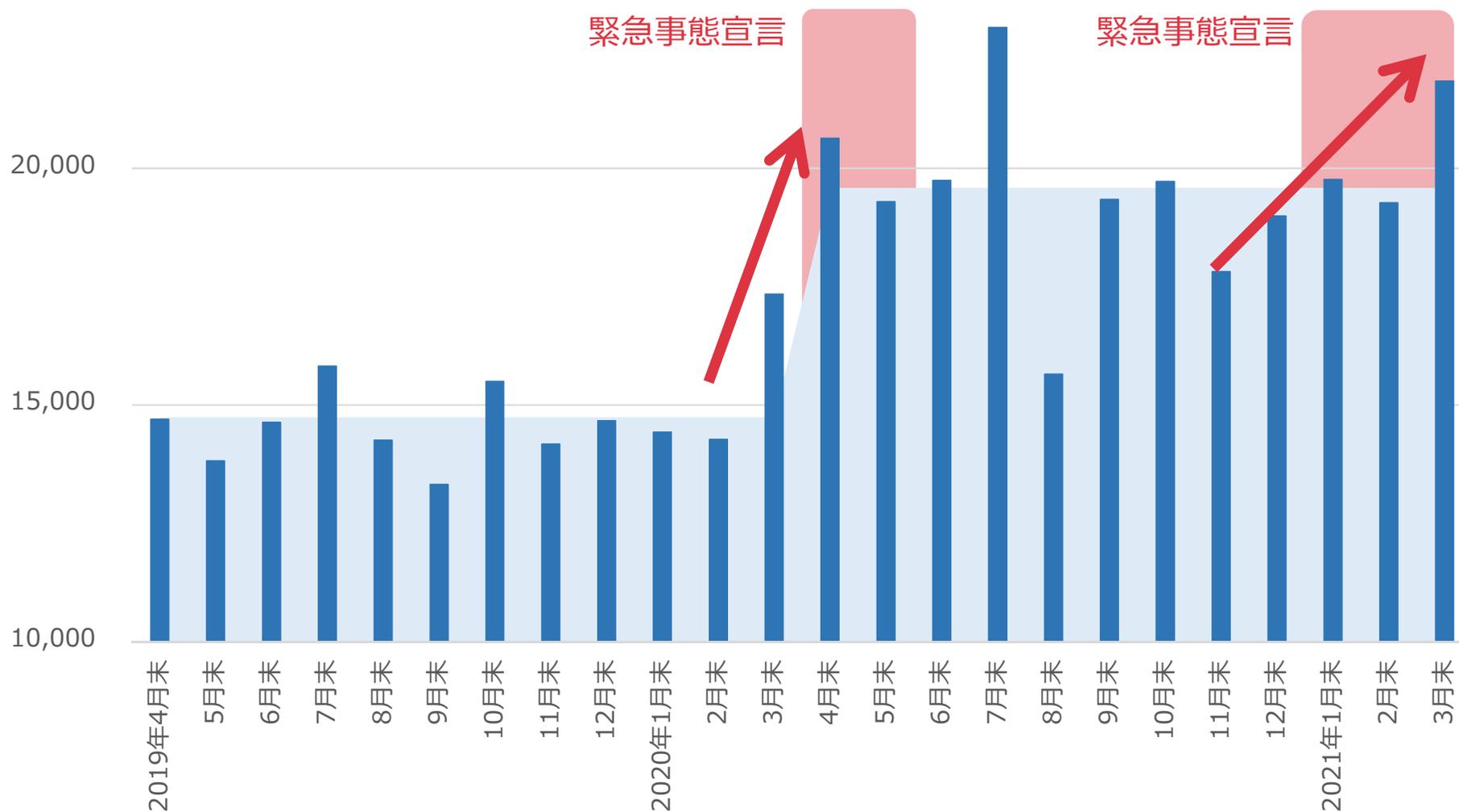
IIJ電子@連絡帳サービスの実績①



- 専門職数、患者数ともに増加
- 月次で各項目は2~4%の拡大傾向

- 専門職一人あたりの記事投稿数も増加
- 患者数の増加とともに活発にやり取りがされている。

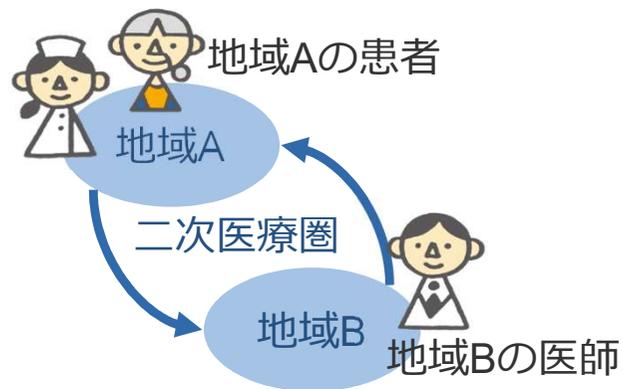
記事投稿数の増加（単月増加量）



- オンラインコミュニティが活発化
- アクティブユーザ数、ページビュー数も増加

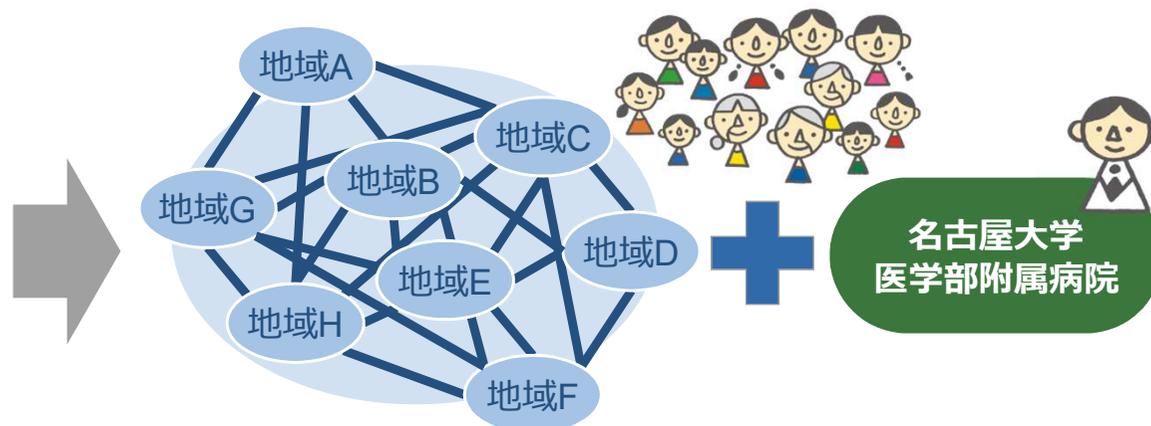
- 新型コロナウイルス感染症対策の拡大とともに増加傾向
- 情報連携の活発化と利用の定着

二次医療圏の連携ネットワーク



- 地域Aの患者を地域Bの専門職が支援することが可能
- 行政区分を超えた連携がスムーズに。

二次医療圏を超えたネットワーク



- 二次医療圏を超えて広範囲に専門職間が連携可能→より多くの患者を支援
- より強固な地域ネットワークを形成 広域災害やパンデミック時の連携

二次医療圏ごとの連携

二次医療圏を超えた連携

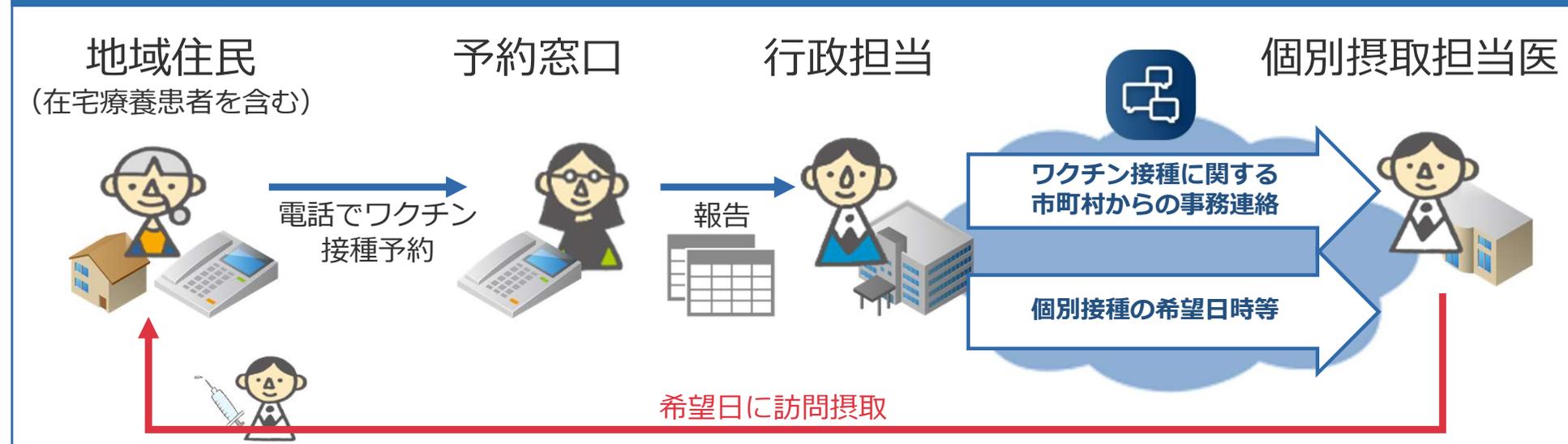
本プロジェクト

- 地域資源の有効活用
- 取りこぼしのない住民支援強化

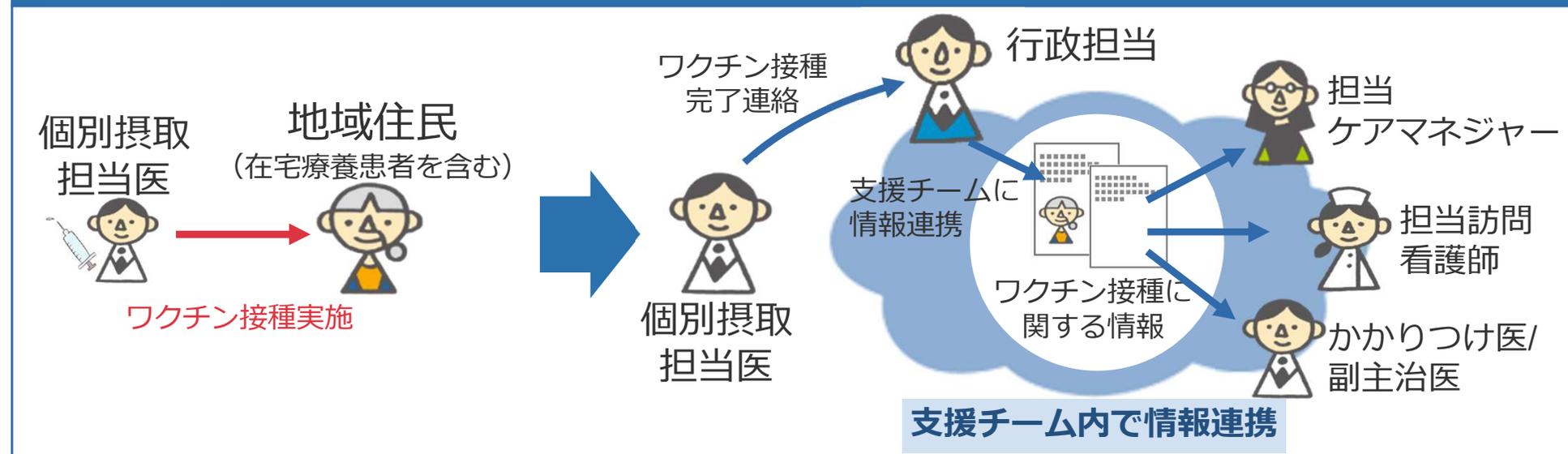
- 二次医療圏を超えた資源活用と連携
- 専門性の高い中核病院との連携

産学が協働することでさらに質の高い地域連携支援を実現

ケース1 個別接種を担当する診療所と行政の情報共有



ケース2 在宅診療を受けている高齢者のワクチン接種の情報共有



ワクチン接種の管理・記録・共有の負担を下げ、さらに利用しやすく。

名古屋大学医学部附属病院様と進める「新型コロナウイルス感染症対策支援プロジェクト」の支援を含めた新しい機能開発と提供を開始します。

新型コロナウイルス 感染症対策

継続的な働き方改革とDX

機能 ①

ワクチン 接種管理記録

在宅療養者や要援護者などワクチン接種会場に行けない住民向けのワクチン接種状況の記録と支援チーム（専門職）への共有

機能 ②

ビデオ会議開催支援 オプション

専門職のカンファレンス/会議、研修、勉強会のテレカン需要へ対応

機能 ③

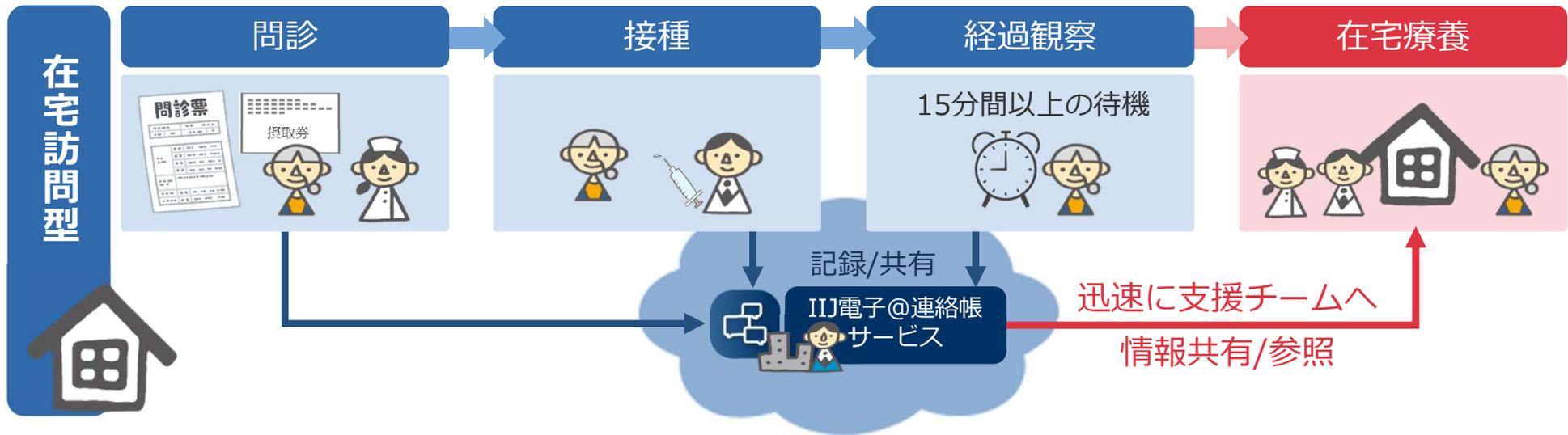
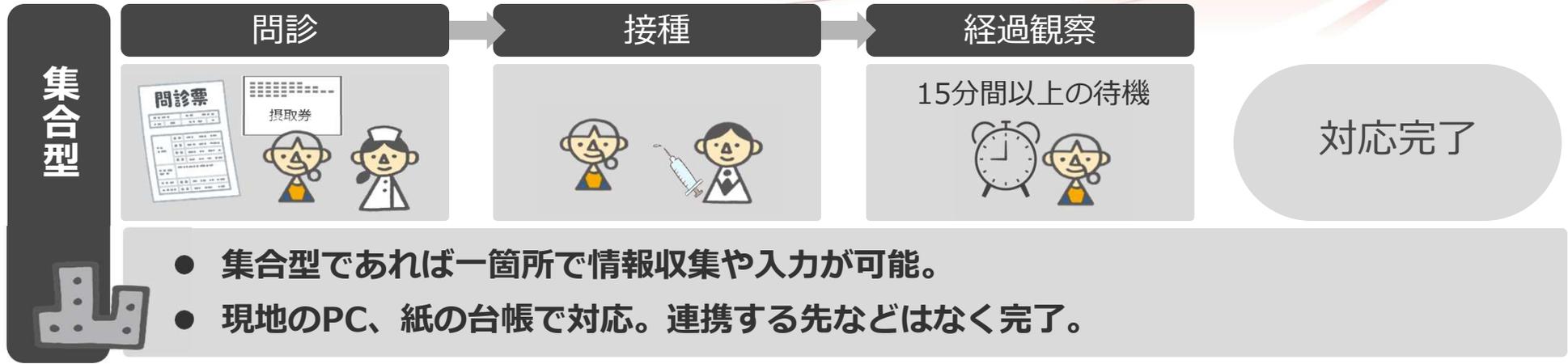
介護認定電子審査会 システム

介護認定審査会を電子化し、非対面とペーパーレス化での実施を支援

「多職種連携」ネットワークによる地域専門職の連携を生かし、在宅医療介護連携の支援のみならず、幅広い課題解決を目指す。

機能①

ワクチン接種管理記録（仮称）機能の概要



- 実施状況を行政に報告、連携する際の効率化、定型化による負担軽減
- 支援チームと接種状況を共有、より適した在宅療養対応を実施
- 行政情報の共有により、在宅療養支援チームの負担を軽減

機能①

ワクチン接種管理と専門職への情報共有 開発画面イメージ

画面は開発中のものです。
変更の可能性があります。

「患者情報」の機能を開発し、患者/住民の摂取状況の記録と管理を実現します。
災害時や救急連携を視野に入れた包括的な情報連携のしくみづくりを目指します。



アイコンによる
接種記録の確認



記録後の自動記載
(投稿) による
通知と共有

ワクチン接種の状況を記録

- ワクチン接種会場に来られない高齢者は訪問対応
その対応をスマホ、PCで記録することが可能
- 接種券や問診票も写真、ファイルで記録可能

ワクチン接種の状況を参照

- 訪問診療、在宅支援時に患者のワクチン接種状況を知ること
でコロナ対策の程度を判断可能
- 専門職の業務負担を軽減

背景とニーズ

各種制度緩和

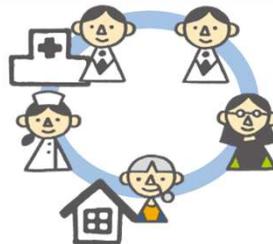
オンラインビデオ会議が
活用可能に



新型コロナウイルス感染症対策

患者・家族を含めた連携

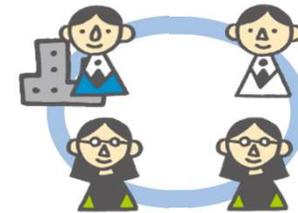
通院・通院困難による
専門職との非対面对応



退院時連携/ケアプラン変更

専門職の連携

地域ケア会議、職能団体の
会議体の非対面对応



開催告知・議事配布

解決のアプローチと期待する効果

非対面でも安全で継続的な
医療介護連携を実現

電子@連絡帳内でビデオ会議を設定、
開催通知やスケジュール管理も可能

完全オンライン対応

電子@連絡帳での
重要情報共有



Microsoft Teamsによる
ビデオ会議型での開催



IIJ電子@連絡帳サービス



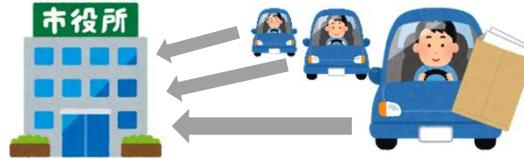
ワンクリックで
連携/URL発行し通知

課題

紙の資料の準備負担
(印刷代、郵送代、手間)



審査員の招集負担
(移動時間、交通費)



対面開催時の感染対策
(感染リスク)



解決のアプローチと期待する効果

審査資料の電子化と
ワークフローの実装

- 完全ペーパーレスを実現し、手間とコストを削減。
- オンラインでの審査プロセスを実装し、事前の意見集約による会議の短縮、重要課題への注力が可能。

オンライン開催 (+ビデオ会議)
による三密回避と効率化

- ビデオ会議 (Microsoft Teams) と組み合わせて、非対面での審査を実現。
- 移動時間の削減、遠方の審査員のアサインが容易に。広域連携時の審査員の招集課題を解消。

認定審査のプロセスを完全ペーパーレス、オンライン対応



IIJ電子@連絡帳サービス

共通認証基盤 (ID)
(クライアント証明書)

利用者だけが
ログイン可能

介護認定電子審査会 システム

ビデオ会議開催 支援オプション

Microsoft Teams連携

合議体管理画面

介護認定審査会参考資料

委員会名	種別	代表者氏名	期次	開催日	開催場所
3001	1	山田太郎	第1回	2023/01/10	市役所
3002	1	山田太郎	第2回	2023/02/10	市役所
3003	1	山田太郎	第3回	2023/03/10	市役所
3004	1	山田太郎	第4回	2023/04/10	市役所
3005	1	山田太郎	第5回	2023/05/10	市役所
3006	1	山田太郎	第6回	2023/06/10	市役所
3007	1	山田太郎	第7回	2023/07/10	市役所
3008	1	山田太郎	第8回	2023/08/10	市役所
3009	1	山田太郎	第9回	2023/09/10	市役所
3010	1	山田太郎	第10回	2023/10/10	市役所

委員会番号	委員会名	開催日	開催場所	出席者	欠席者	議決結果	備考
3001	介護認定審査会	2023/01/10	市役所	山田太郎, 田中花子	佐藤一郎	承認	
3002	介護認定審査会	2023/02/10	市役所	山田太郎, 田中花子	佐藤一郎	承認	
3003	介護認定審査会	2023/03/10	市役所	山田太郎, 田中花子	佐藤一郎	承認	
3004	介護認定審査会	2023/04/10	市役所	山田太郎, 田中花子	佐藤一郎	承認	
3005	介護認定審査会	2023/05/10	市役所	山田太郎, 田中花子	佐藤一郎	承認	
3006	介護認定審査会	2023/06/10	市役所	山田太郎, 田中花子	佐藤一郎	承認	
3007	介護認定審査会	2023/07/10	市役所	山田太郎, 田中花子	佐藤一郎	承認	
3008	介護認定審査会	2023/08/10	市役所	山田太郎, 田中花子	佐藤一郎	承認	
3009	介護認定審査会	2023/09/10	市役所	山田太郎, 田中花子	佐藤一郎	承認	
3010	介護認定審査会	2023/10/10	市役所	山田太郎, 田中花子	佐藤一郎	承認	

完全ペーパーレス・オンライン対応可能

合議体管理

審査会作成管理

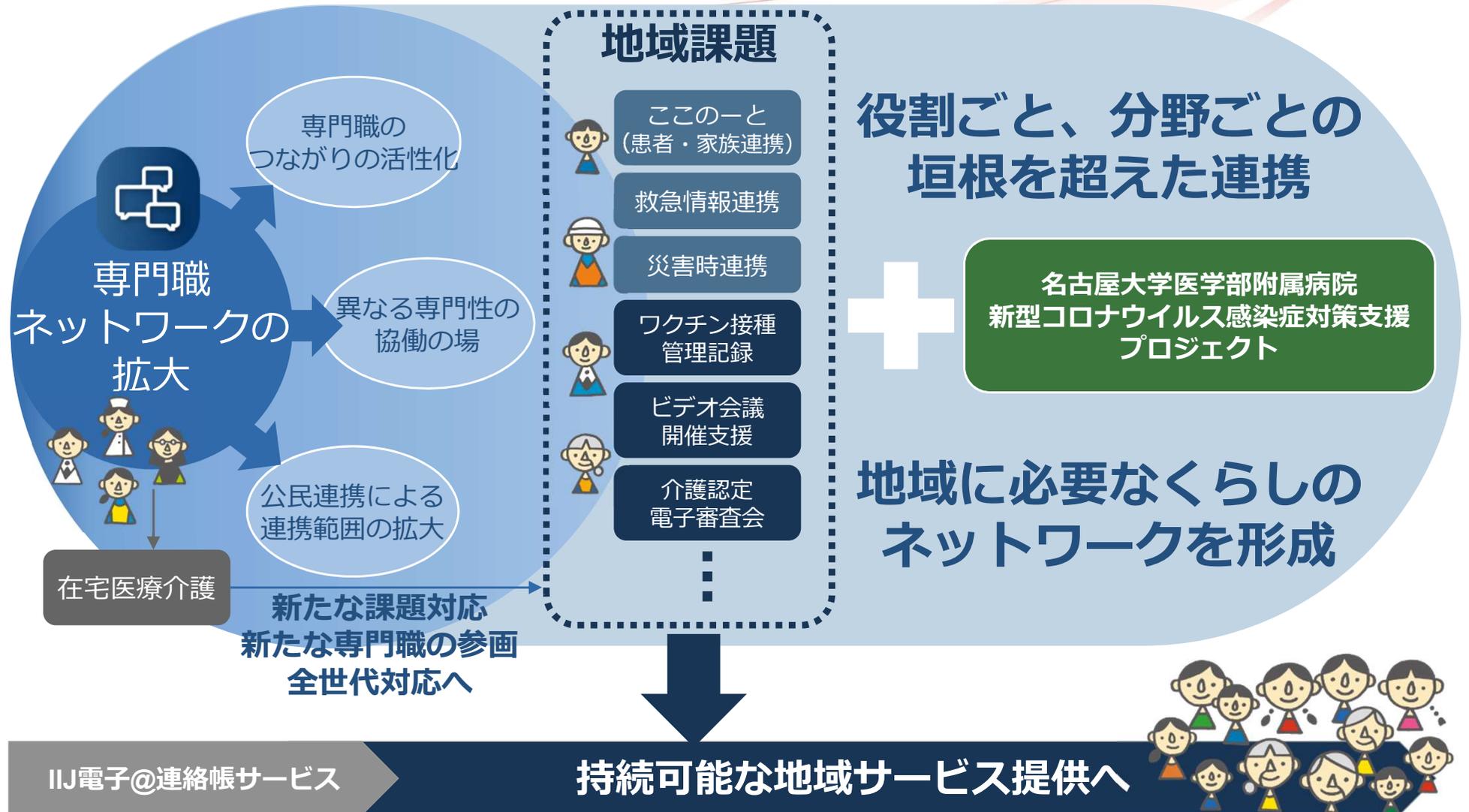
事前審査

結果集約

介護認定審査会開催 (ビデオ会議)



介護認定業務を 安全かつ効率的に完了



より安心・安全・健康に。地域の暮らしを支えるプラットフォームへ

地域包括ケア
在宅医療介護連携推進

地域共生社会の
実現

新しい生活様式
新型コロナウイルス感染症対策

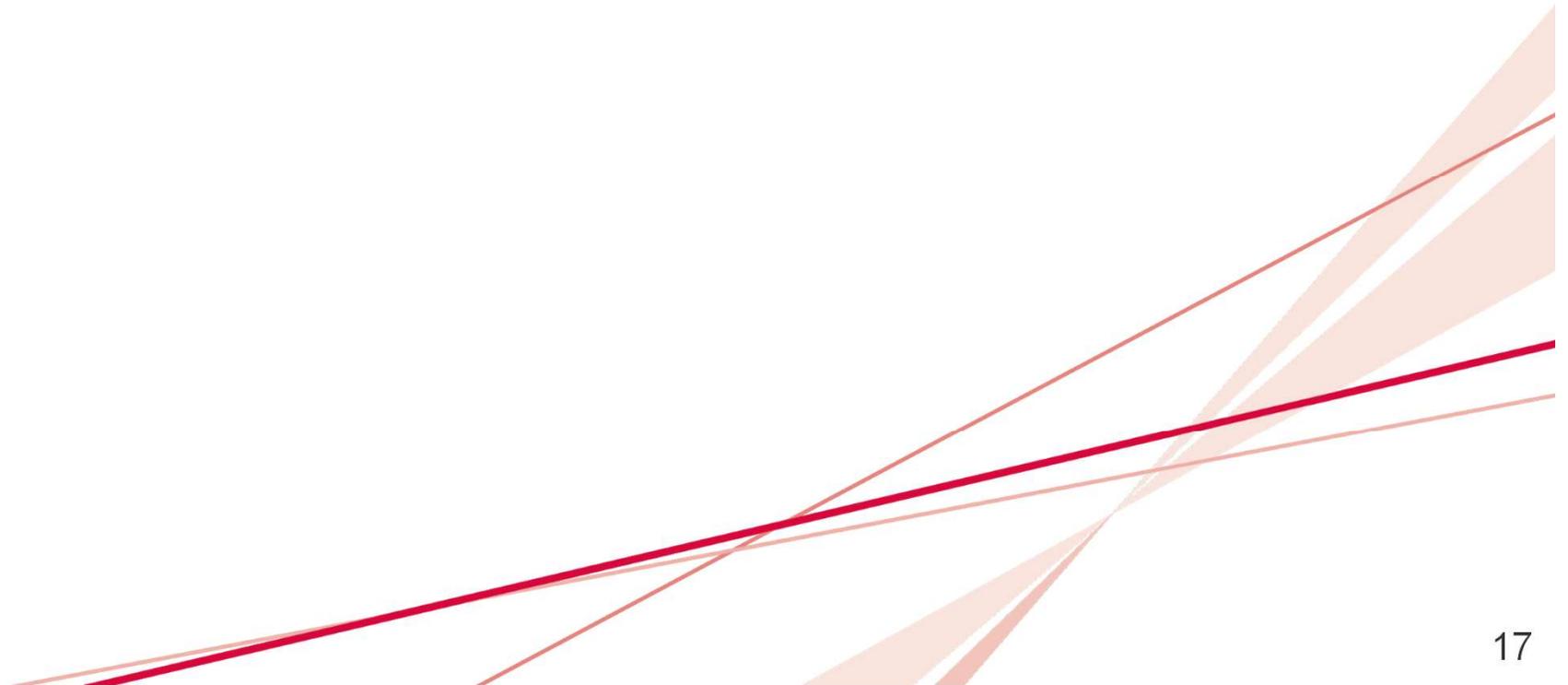


日本のインターネットは1992年、IIJとともにはじまりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

IIJはいつもはじまりであり、未来です。

本書には、株式会社インターネットイニシアティブに権利の帰属する秘密情報が含まれています。本書の著作権は、当社に帰属し、日本の著作権法及び国際条約により保護されており、著作権者の事前の書面による許諾がなければ、複製・翻案・公衆送信等できません。本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標または登録商標です。文中では™、®マークは表示していません。本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

Appendix



株式会社インターネットイニシアティブ 会社概要

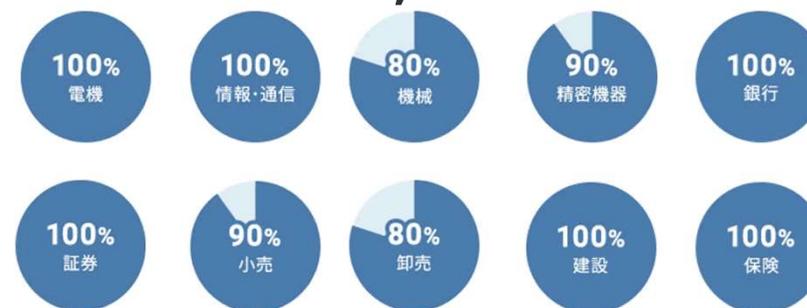
社名	株式会社インターネットイニシアティブ (Internet Initiative Japan Inc.)
設立年月日	1992年(平成4年)12月3日
従業員数	3,804名(連結) 2,206名(単体) ※2021年3月現在
所在地	東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム 〒102-0071
事業所	関西支社 名古屋支社 九州支社 札幌支店 東北支店 横浜支店、北信越支店 中四国支店 新潟営業所 豊田営業所 沖縄営業所
資本金	22,991百万円
主要取引銀行	三井住友銀行 みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行
公開市場	東京証券取引所第一部 (2006年12月東証マザーズより市場替え、証券コード:3774)
売上 (2020年3月期)	2,045億円
代表取締役会長	鈴木 幸一 (Co-CEO)
代表取締役社長	勝 栄二郎 (Co-CEO&COO)

事業基盤



お客様

約12,000社



業界トップ10企業へのサービス浸透率

プライバシーマーク・ISMS



当社はプライバシーマークの使用を許諾された認定事業者です。

IS 512641 / ISO 27001

インターネットを真の社会インフラに。

ネットワークの持つ巨大な可能性を切り拓きます。

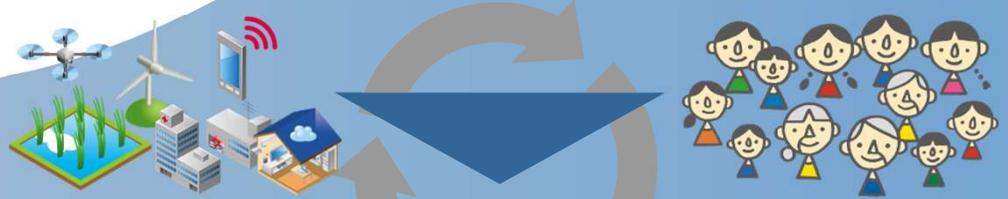
IIJの強みと持続可能な取り組み



環境配慮 Earth/Global	省電力データセンターの開発によるCO2排出量の削減を推進 グローバルネットワーク独自に構築し、国内外の安定したサービス環境を提供
基礎技術 Region	様々な災害や障害を想定し構築された、強靱なネットワーク IoT/5G技術をリードし、セキュリティを考慮したコスト最適なICT環境の提供
応用展開 Local	オープンイノベーションや産官学連携推進 医療、金融、農業などイノベーションを求める産業領域への事業開発と技術開発

国内初の
インターネット接続事業
業界シェアNo1の
サービス開発力と運用力

各業界トップ10企業/組織
への高い導入率
(サービス浸透率)



インターネット事業を通じて、
持続可能な社会の実現に貢献します。

導入する行政・地域・施設



連携する二次医療圏と行政



参加する多職種



15,000人以上
30職種以上

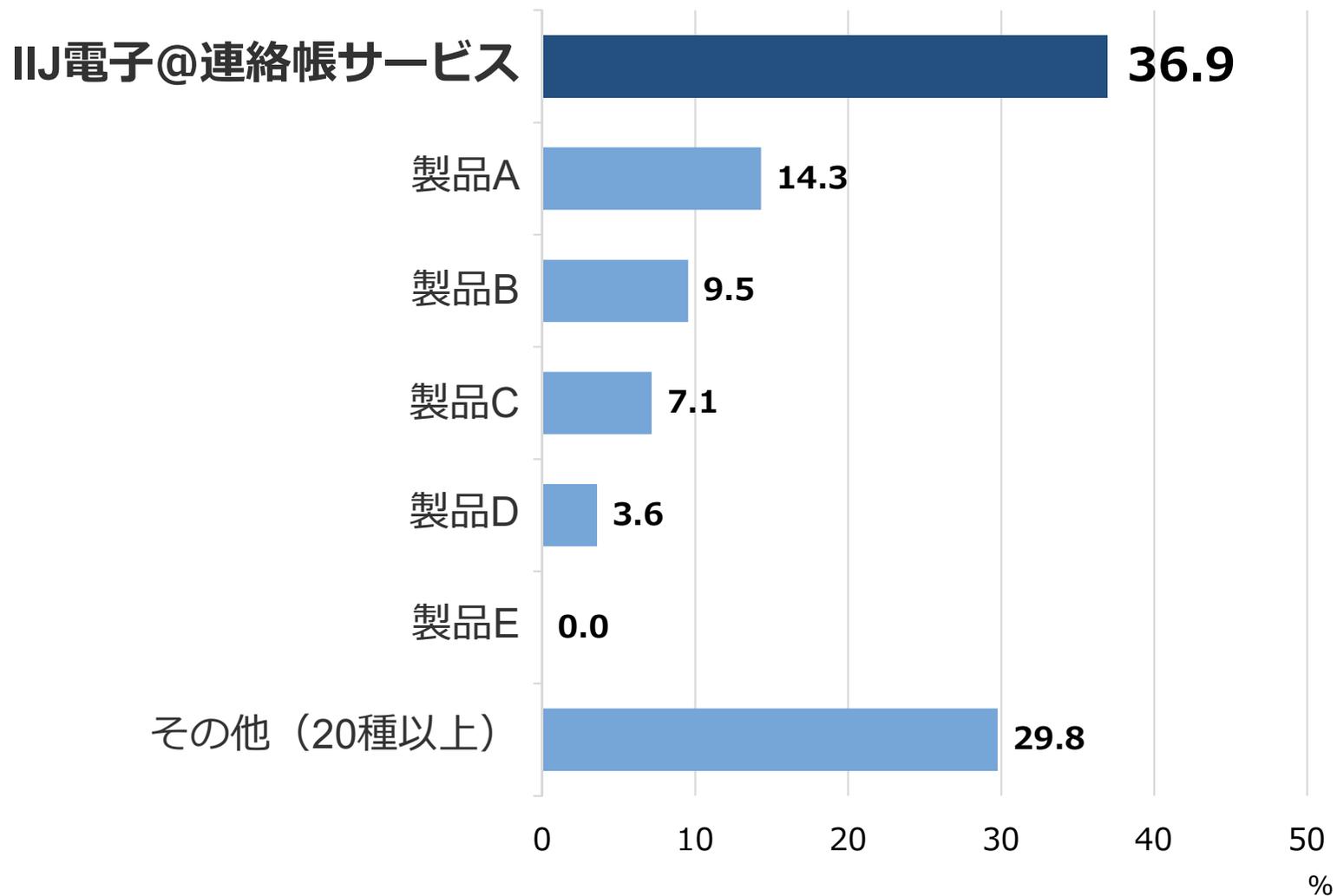
登録患者数



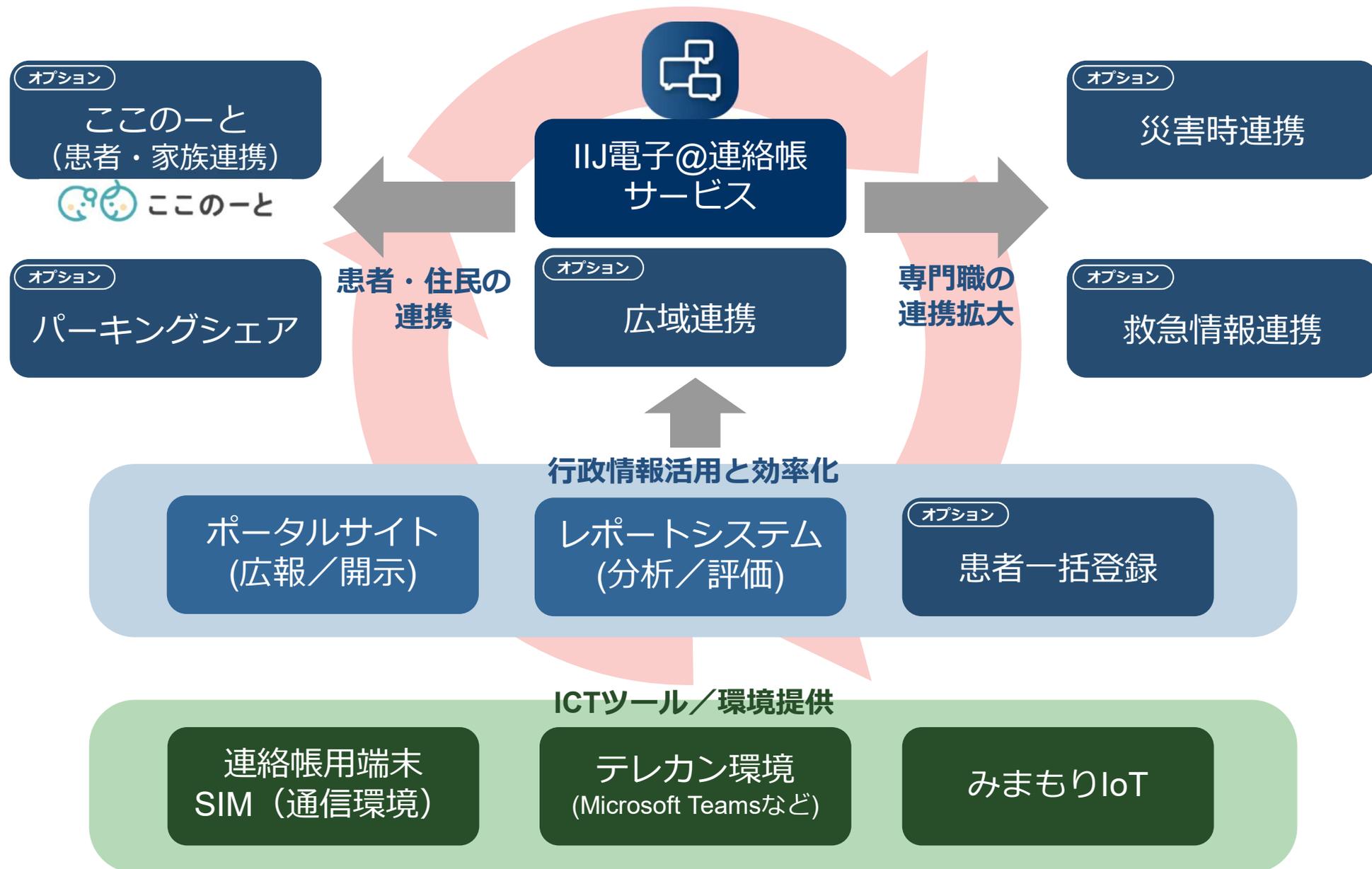
23,000人以上

自治体主導の多職種連携ネットワークで利用している製品・サービスは、**「IIJ電子@連絡帳サービス」が36.9%と最も多い。**

(シード・プランニング発表/2020年12月8日)

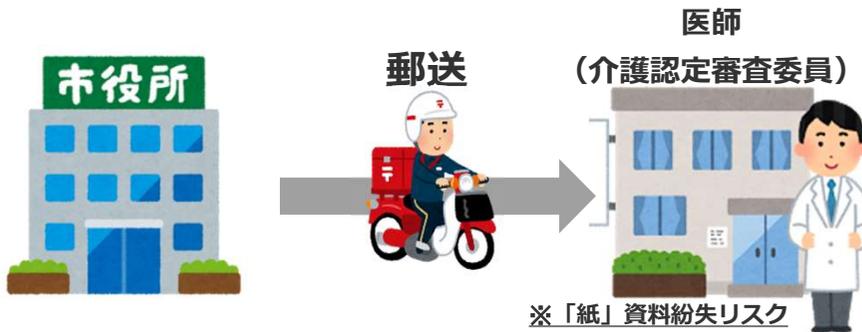


地域包括ケアシステムの深化を目指しサービス機能を強化

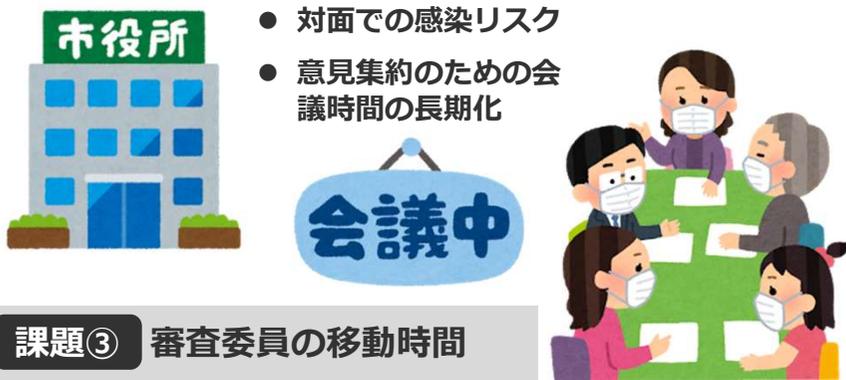


導入前

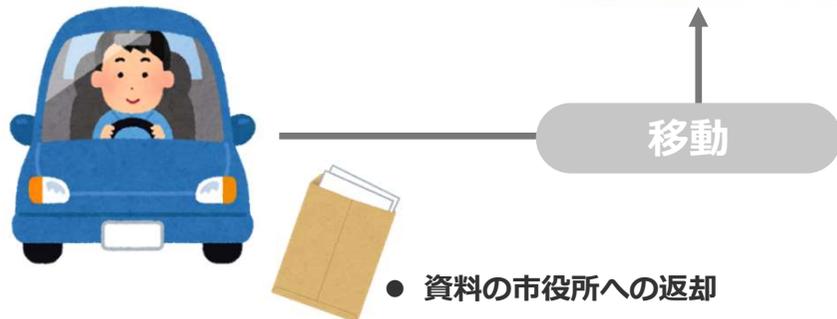
課題① 資料の事前発送（郵送代）



課題② 市役所での対面会議（感染リスク）

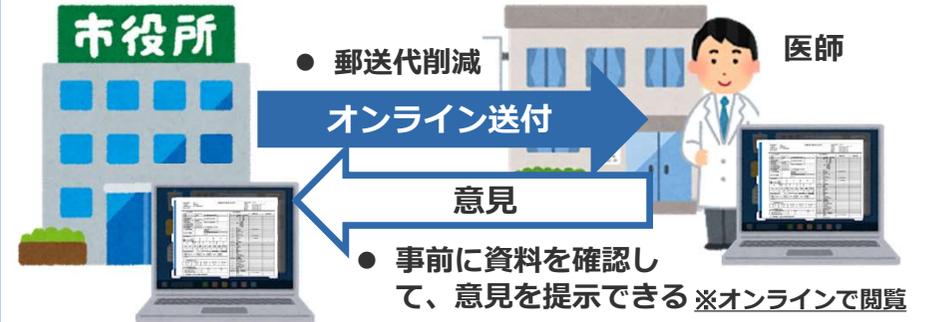


課題③ 審査委員の移動時間



導入後

対策① オンラインでの資料送付（郵送代削減）



対策② 市役所からのオンライン会議（三密回避）



対策③ オンライン参加

